

海外進出ステップアッププログラム「セミナーA実施レポート」

8月26日に第1回目となるセミナーA「海外マーケットと海外企画について知る」をオンラインにて開催いたしました。昨今のアニメーション業界の最新動向の振り返りから、海外に作品を展開するための企画の作り方まで、ビジネスの目線から、クリエイティブの目線まで、幅広くご紹介いただき、海外展開の初心者にとって大変有意義な内容でした。

セミナーA「海外マーケットと海外企画について知る」 講演内容ご紹介

アニメーションジャーナリスト 数土直志氏 「アニメの海外マーケット」

- 日々状況が変わる国内外のアニメーション産業の現状について、ポジティブな面、ネガティブな面の両面の状況を、具体的なデータを踏まえて整理していただきました。特に海外需要の推移や、コロナ禍のアニメスタジオの課題の整理から、求められる打ち手や視点について解説いただきました。
- 加えて、MIFAをはじめとする国際見本市を用いた海外ビジネスの展開方法については、2022年のMIFAの現地の様子などを交えて、コロナ禍以降の国際見本市の雰囲気等についてご紹介いただきました。
- また、直近のアニメ産業のトレンドとして、大手配信プラットフォーム別のビジネス展開の最新動向や、海外での大人向けアニメーション市場の展開、アニメビジネスにおける映像販売とメディアミックスの2極化等、国内のアニメーション産業関係者が気になるポイントについて解説いただきました。



数土氏によるセミナーの様子

文筆家／翻訳家／デジタルハリウッド大学及び京都精華大学非常勤講師 堺三保氏 「海外展開のための企画の煮詰め方」

- 日本と海外ではアニメを売り込むにあたって考え方が大きく異なることを中心に、海外、特にアメリカに対して作品を売り込む際の企画の練りこみ方について解説いただきました。最も大きなポイントとして、主人公の強烈なキャラクター性、成長のドラマ、起伏のあるストーリー、日本的要素と世界共通の価値観のバランス等があることを教えていただきました。
- 加えて、作品をどのようにプレゼン（ピッチ）するかについても、日本と海外では大きく違うという点を解説いただきました。5分間のピッチ時間の中でどのようなことを伝えなければならないか、どのようなピッチ資料を用いて作品の魅力を伝えるとよいかといった点を教えていただきました。
- なぜ、海外の人気作品が世界中で売れているのか、日本の作品が世界中で人気を博すにはどう作品の魅力を示していくか等、興味深いお話をしていただきました。



堺氏によるセミナーの様子